

いずもぎき

議会だより

第110号
2021 令和3年1月22日



12月定例会

もくじ

| | |
|-----------------|----|
| 新年のあいさつ | 2 |
| 議会のうごき | 3 |
| 12月定例会 | 4 |
| 補正予算質疑 | 6 |
| 全員協議会 | 8 |
| 一般質問(6人が町政をたずぬ) | 10 |
| 委員会視察 | 17 |
| みんなの声 | 18 |

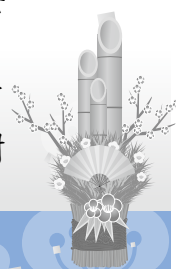


出雲崎町議会
ホームページ

雪の中の初登校

新年のあいさつ

議長 仙海直樹



あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症により、例年とは違ったお正月をお過ごしのことと思います。

依然として収束がみえない中で、コロナ疲れにより、心のバランスを崩している方はいないでしょうか。

新型コロナウイルスは全国的に経済へ大きな打撃を与えた中で、当町にも大きな打撃がありました。

人口減少に伴い、全ての業種で後継者不足が課題となっている中で、コロナにより追い打ちをかけられることがあってはならないと思います。

議会としても目の前の課題に一つ一つ取り組みながら、町の発展と住みよい町づくりに議員10人が一丸となって頑張ってまいります。

今年も議会にご指導を賜りますようお願い申し上げます。

～新議会で 更なる飛躍を遂げるよう
まちづくりに努めます～
出雲崎町議会議員一同



町独自の支援策強化!!

(1人につき1万円 支給対象者4,300人)
2021年3月に支給

町子育て世帯応援支援金追加1,030万円(第2回)

12月定例会で決まった補正予算

| 会 計 | 補 正 額 | 補正後の予算額 |
|----------------|---------|------------|
| 一 般 会 計 (第9号) | 8,656万円 | 41億5,799万円 |
| 特別会計 | | |
| 国民健康保険事業 (第3号) | 3,828万円 | 5億4,570万円 |
| 介護保険事業 (第2号) | 1,713万円 | 6億7,582万円 |
| 後期高齢医療 (第1号) | 65万円 | 6,635万円 |

※金額は千円未満を切り捨て

主な歳出

第3回目
令和2年7月から12月までの6ヶ月間の合計売上額が前年同期より30%以上減少した町個人事業主および町に事業所をおく法人

一般会計補正予算 (第9号)

- 町漁協経営支援事業補助金…… 173万円
- 町事業継続支援追加…………… 750万円
- 町ふるさと逸品開発等支援金追加…………… 400万円
- 非接触型検知器 9台…………… 193万円
- 海浜クリーン作戦委託料追加… 600万円
- 天領の里光熱水費補助金…………… 380万円
- 表装料…………… 178万円

漁業者の売上が減少した事により経営を支援するため減少額の一部を補助

現在8事業で6事業追加

昨年の台風19号の影響による集積物処分費の追加

ふれあいの里 1台
多世代交流館 1台
天領の里 5台
ホッと情報館陽だまり 1台
良寛記念館 1台

コロナで売上が減少したことによる補助

つちだ 土田氏からの寄贈資料のうち22点表装

国民健康保険事業特別会計補正予算 (第3号)

- 高額療養費追加…………… 1,000万円
- 療養給付費追加…………… 1,600万円

介護保険事業特別会計補正予算 (第2号)

- 高額介護サービス費追加…………… 150万円
- 施設介護サービス給付費追加…………… 2,000万円
- 地域密着型介護サービス給付費減…………… △700万円
(△は減額)

12月定例会

定例会は12月7日から11日までの5日間の会期で開かれました。議会報告3件、発議3件、令和2年度一般会計補正予算・特別会計補正予算・条例改正など、議案6件が提出され慎重審査の結果、原案のとおり可決・承認しました。

可決した条例改正など

- 出雲崎町議会議員及び出雲崎町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例制定
 - ・公職選挙法の一部改正によるもの
 - ・当町においても条例を定めることにより選挙公営を導入するもの
- 出雲崎町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定
 - ・法律の一部改正によるもの
- 発議第3号 拉致被害者全員の即時帰国を求める意見書
 - ・北朝鮮に拉致されて国民の救出を支援する新潟県議会の会から、メッセージをうけて、当議会もこの趣旨に賛同し意見書を提出するもの。
- 発委第3号 老齢基礎年金等の抜本的な改善を求める意見書
 - ・安心して老後を暮らせるように、老齢基礎年金等の支給額を改善するよう求めるもの

教えて 定例会

今回の選挙運動の公営に関する条例制定により変わります。

何が変わるの?

次の項目が公費負担となります。

- ①選挙運動用自動車の使用
- ②選挙運動用ピラの作成
- ③選挙運動用ポスターの作成

町議会議員選挙に供託金15万円が導入されます。



補正予算質疑

主な質疑内容を掲載します。

12月7日

庁舎内電話機 交換工事減

▲129万円

小黒議員 当初、44台分と思うが、高額減額になったのは台数が減ったのか。

総務課長 入札額の請け差であり、台数に変更はない。

漁協支援事業 補助金

123万円

加藤議員 コロナの影響で水揚げ高が減った中、今回の支援は納得するが、これから漁業者の高齢化、担い手確保を考えた支援をする必要があると考えるが。

産業観光課長 地域全体で、農業も含め担い手を確保する支援を考えていきたい。

高橋議員 なぜ、三分の二の補助率なのか。



避難訓練でのダンボールベッド組立（ふるさと逸品）

ふるさと逸品開発支援 助成金追加

400万円

産業観光課長 漁業者・農業者への支援についても三分の二の補助率としており、統一した考え方としている。

諸橋議員 14事業分とのことだが、どのような内容か。

産業観光課長 8事業を実施、その他に6事業の相談がある。内容としてはダンボールベッドの作成、ウェブサイト関連やテレワークの構築、広告関係等である。

非接触型検知器 整備事業

193万円

高桑議員 妻入り会館は町外観光客の入館者数が多いが、今回の設置対象でない理由は何か。

高橋議員 役場の機能を守ることを考えたら、役場庁舎と公民館、加えてふれあいの里の設置が優先されるべきではないか。

三輪議員 町内施設での検温等の取り扱いを統一して欲しい。

中川議員 検温する職員の手間を考えたら、もつと自動でチェックできるような、高性能のものを考えるべきではないか。

総務課長 今回は、顔認証で体温を検温できるスタンド型の検知器である。施設の開館状況・入館者数等を総合的に勘案して今回予算計上した。今後、必要があれば、設置を検討したい。

また、現在、町内すべての公共施設で検温を実施している。役場来訪者については、諸手続等が短時間であること

や、来訪者が特定できて、飛沫防止パーテーション等の感染対策を実施しているので濃厚接触にはあたらない。今回は確認方法が変わるといふことで、引き続き感染対策には万全を期していきたい。

町家展示施設 整備事業

247万円

高橋議員 資料では、展示の中に、「おけさ」「お舟唄」が入っていないのはなぜか。

三輪議員 天領の里の展示品の一部を移すと、有料で利益率の高い時代館の展示が少なくなり、入館者数に影響がないのか。



改装中の町家展示施設（旧津又邸）

中川議員 時代館から移すのではなく、中央公民館三階の資料館から移すことを考えた方が良いのではないか。

教育課長 「おけさ」等について、記載はないが、構成文化財として音と映像を流すことを考えている。また、天領の里と両方に展示するのではなく、北前船については町家で、時代館については今後、新しい展示を考えていく。

展示は、資料館からも考えていくが、保存のための環境も考慮しなければならぬ。また、頻繁に展示替えを行うことを考えている。

町長 展示物については、意見を踏まえて、再度検討する。

良寛記念館応援倶楽部 手まりの会補助金減

▲45万円

中野議員 補助金減額補正の理由は何か。

教育課長 当初、11月に設立総会を開く考えだったが、スタートが大事と考え、会員確保と、寄贈された作品の表具、それを総会で披露できるようにと、考え、時期を遅らせたもの。

10月臨時会

会期 10月14日 (1日間)

10月臨時会では令和2年度一般会計補正予算(第8号)が提出され、慎重審議の結果、原案のとおり全会一致で可決・承認されました。

令和2年度一般会計補正予算(第8号)

| 会 計 | 補正額 | 補正後の予算額 |
|---------------|---------|------------|
| 一 般 会 計 (第8号) | 6,629万円 | 40億7,143万円 |

主な歳入

- ・新型コロナウイルス感染症対応
地方創生臨時交付金追加 … 4,443万円
- ・プレミアム付商品券販売料 … 2,175万円

主な歳出

- ・議会中継システム導入業務委託料 … 190万円
- ・議会タブレット購入 … 149万円
- ・非常用発電設備整備工事 … 1,400万円
- ・プレミアム付商品券利用事業交付金 … 4,350万円

補足説明

◎議会中継システム導入業務委託料

議会定例会等をユーチューブ(YouTube)で配信するため、環境構築業務を委託し、町内5カ所(役場、中央公民館、海岸公民館、妻入り会館、陽だまり)で視聴できるよう整備するもの。

◎議会タブレット購入

リモート会議の実施、スケジュール管理、会議資料の電子化に向け、購入するもの。

◎非常用発電設備整備工事

保健福祉総合センターの停電時、施設運営に支障をきたすことのないよう非常用発電設備を整備するもの。

◎プレミアム付商品券利用事業交付金

全町民を対象に1万円分の商品券(500円券20枚綴り)を1人1冊5,000円で販売し、利用実績に応じ、利用店舗に交付金を交付するもの。

補正予算の事業はすべて、国庫補助金(新型コロナウイルス臨時交付金)を財源としています。

11月臨時会

会期 11月30日 (1日間)

11月臨時会では条例の一部改正など議案2件、発委1件が提出され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり全会一致で可決・承認されました。

承認した条例改正

- ◆出雲崎町職員の給与に関する条例の一部改正
- ◆出雲崎町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正
- ◆出雲崎議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

☆改正の概要 …… 人事院、新潟県人事委員会の、民間における年間支給割合等を踏まえ、期末手当の支給月数を0.05月引き下げる勧告によるもの。

全員協議会

主なものから
抜粋して掲載しています

第11回 10月14日(水)

町職員の兼業許可基準 の設定について

中野議員 地方公共団体が兼業許可基準を設定して、広く公表することで、兼業許可の公平性や透明性を確保できるのではないかと。当町としても考えるべき。

総務課長

地方公務員の兼業については、地方公務員法上、原則として禁止されている。ただし、任命権者である町長や議長から営利企業従事等の許可を得ることで報酬を得て、従事する事ができるというものである。当町の場合は事業所の規模が小さいので、職員の兼業についても個別・具体的に相談に応じることができ、許可基準を一律に引くことなく、現在の状態でも兼業許可を受けられる環境にはある。今後、職員の意向、実態の状況等を見て、必要な対策をとっていきたい。

公共施設利用時の煩雑な 記入手続きの緩和について

加藤議員

天領の里レストランは、多くの方が利用し、順番待ちの盛況であった。利便性やお客との非接触対応を考え、電子マネー決済の拡大について、今後の方針を伺う。

産業観光課長

天領の里では昨年度から順次、キャッシュレス化に取り組んでいる。今後、その傾向は益々進むと思われるので、新型コロナウイルス感染症の防止対策と併せ、意欲的に取り組んでいただき、売り上げアップにつながる事を町としても期待している。



進むキャッシュレス決済

包括協定の締結について

教育課長

この度、出雲崎町と出雲崎高校で、包括協定を締結する。高校が目指す学校像を実現するために、町と協力関係の中で交流や推進を図り、学校の持続的な発展と地域に貢献できる人材を育成することを目的とするものである。

第12回 11月18日(水)

津波避難訓練について

総務課長

10月12日の訓練には、26の行政区から参加いただき、要支援者4名と出雲崎こども園の園児60名を含み、参加総人数は280人であった。

高橋議員

夜間の避難訓練を行う必要があるのではないかと。暗い避難路の照明はどうか、連絡網が機能するか等を確認し、対応しなければならぬ。照明については、外灯でなく、個々に装着可能なヘッドライトを配つてはどうか。また、観光客の避難は今までされていないと思う。

案内看板も少なく、再度点検し直した方が良いと思う。

総務課長

ヘッドライトについては、補助制度があるので、再度周知したい。避難場所については点検しており、緊急性の高いものから、毎年計画的に整備を進めている。



ヘッドライト

忘年会・新年会について

中川議員

忘年会・新年会が開催されるよう、後押しができるような補助策はないか。

産業観光課長

プレミアム商品券を11月14日から販売を開始した。忘・新年会のための特別な補助は今のところ考えていない。

稲作農家の担い手の 現状について

三輪議員

高齢化等により、耕作を辞める農家が多いと聞いています。町はそのような現状をどう

新型コロナウイルス感染症 に関する町の対応について

加藤議員

天領の里の光熱水費の補助だが、ふれあいの里では、300万円近くかかっていた電気代を、東北電力から他の電力会社に変更して約30パーセント削減したという説明を受けた。そういった努力も必要ではないか。

産業観光課長

天領の里の支援策は、電気代がかかったから補助するというわけではなく、売り上げ全体が大きく落ち込んでいる中で、町として、明確な数字で援助できるものとして、光熱水費としたもの。

第6次出雲崎町総合計画 の策定方針について

総務課長

第5次総合計画が令和2年度で最終年度となってい

るが、1年延長し、第6次の計画期間を、令和4年度から12年度までの9年間としたい。国において、過疎新法の制定作業が進められているが、新しい過疎計画の策定が令和3年度にずれ込む見込み。第6次総合計画は過疎計画との整合性を図る必要がある。また、感染症終息後の社会経済情勢や環境を見極めた中で検討する必要がある。

町村議会議員及び町長選挙 における選挙公営に関する 条例の制定について

総務課長 公職選挙法の改正で、選挙公営が拡大された。条例で定めることにより、公費負担となるものは

- ① 選挙運動用自動車
- ② 運動用ビラの作成
- ③ ポスターの作成費

ビラを選挙公営とする関係で、ビラの配布ができることになった。町議会議員選挙においては、15万円の供託金制度が導入される。

地域おこし協力隊の 募集について

総務課長 現在、2名の地域おこし協力隊員が活動をしている

が、さらに2名の方を募集したい。一人目としては、西越地区の集落での活動を担っていた方の方を、もう一人は健康・教育・交通安全をテーマにした地域活性化を目指す方としたい。来年の4月には対応できるように進めたい。

小黒議員 古民家に憧れている方もいる。居住場所について、すぐに生活できる場所であれば良いが、修繕等が必要であれば、早めに対応してもらいたい。

総務課長 集落の方で合意を得ても、集落のサポートがないと続かないものである。2、3の集落とその作業を進めているところであり、正式に募集するときには特定の集落を限定した形になると思う。

高桑議員 出雲崎町に素晴らしい高校があるということ、地域の方でご存知ない方も多いと思う。ブランチャキヤンパスだけでなく、積極的に出雲崎高校のことを発信していく形で、地域おこし協力隊員に活動をお願いしたい。

災害時における物資供給に 関する協定の締結について

総務課長 町内に工場を有するダンボール製造会社の吉沢工業株式会社と協定書を締結したい。

商品は、ふるさと逸品開発支援助成金を受けてその製品開発にあたったものである。「ダンボールベッド」と「ダンボール間仕切り板」を災害時にも提供してもらえ体制を構築する。

旧富岡臨海学校施設の 売却処分について

総務課長 富岡市としては、売却処分をしたいとの話があった。買取りを前提とした活用提案を公募し、プロポーザル方式で最優秀提案事業者を選定する。



旧富岡臨海学校

良寛記念館への 寄贈作品について

教育課長 燕市出身で千葉県在住の土田義彦様から、土田家の貴重な資料を寄贈いただけた。

ことになった。作品の総数は86点で、良寛の他、著名な作品では、勝海舟、伊達政宗、亀田鵬斎、山岡鉄舟などの一般的に名前の知れた作者の作品も含まれている。令和3年の3月頃に公開したい。

第13回 12月11日(金)

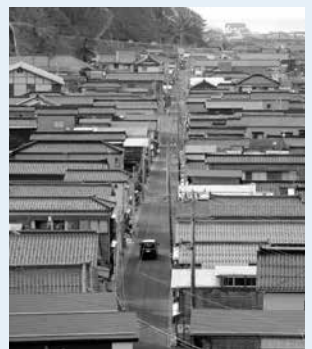
出雲崎町 公の施設指定管理者の 選定について

総務課長 現在、12の施設について指定管理者を指定しており、そのうち3施設が今年度末をもって期間が満了する。保健福祉センターは出雲崎町社会福祉協議会を、デイサービスセンターは中越老人福祉協会を、妻入り会館については妻入りの会を指定管理者とし、指定している。これまでの管理状況の評価等を踏まえ、いずれも現行の団体を指名指定としたい。

町道海岸線の 路線名変更について

建設課長 令和3年4月1日より、「妻入りの街並み線」と路線名を変更したい。

出雲崎寄港地の町家の 運営について



4月からは「妻入りの街並み線」に

教育課長 施設の運営については「歴史や五郎兵衛」と今回の「寄港地の町家」、この2つの施設を1つの団体で運営するというところで考えている。開館時期は3月から11月までの9ヶ月間。開館日は土曜・日曜・祝日のみとし、開館時間は午前10時から午後4時までとする。今回新しく「みなとまち町家の会」という名称の会を立ち上げ、会員は現在32名である。

高橋議員 勤務日数は、32の方が2つの施設に分かれて月に1〜2回程度ということであるが、管理謝礼が1回3千円。これは半日なのか1日か。半日の勤務があると、勤めやすいと思う。

教育課長 午前10時から午後4時までということである。当番の方はその日1日お勤めいただくという考え方である。

1

加藤修三 議員



質問項目

1. 人口減少の抑制で活力にあふれた元気な町に

[詳細は11ページ](#)

2

高橋速円 議員



質問項目

1. 三世帯世帯への支援策

[詳細は12ページ](#)

3

小黒博泰 議員



質問項目

1. 町出身アーティストへの活動支援を

[詳細は13ページ](#)

一般質問 ~町政を問う~



4

諸橋和史 議員



質問項目

1. 下西越地区の水利について

[詳細は14ページ](#)

5

三輪 正 議員



質問項目

1. 良寛記念館と心月輪エリアの運営一体化を

[詳細は15ページ](#)

6

中野勝正 議員



質問項目

1. 大門町営住宅の今後の展望について

[詳細は16ページ](#)



加藤 修三 議員

人口減少抑制で 活力ある元気な町に

町長

町民が何を期待しているかを 受け止め地道に確実に進める

転入転出の社会動態で 転入増対策について

加藤 県内の社会動態は毎年6千人以上減少し歯止めがきかない中、当町は昨年1月～本年9月までの実績は11人増で県内増加の市町村は稀で殆どない中、当町は増加で松本ひがし住宅分譲地も残り数区画となり、更にいろいろな減少抑制策を打っていかねければと考えるが、考えを伺う。

住みやすい評価をいた
だく政策をしつかりと、
地に足をつけて行動する

町長 厳しい現実の中、政策課題の最重要課題として取り組んでおり、まち・ひと・しごと創生総合戦略が徐々に効果を発揮し、団地造成については、松本ひがし団地に多くの方が転入された。更に新しい団地造成も考慮し公営住宅にも力を入れて、おいでいただく

方々、入居される方々の利便性を図っていく考えである。

出生より死亡が多い現状、 自然減の抑制対策について

加藤 本県の出生と死亡の差である自然増減数は、年単位で1万から2万人弱減少し、歯止めがきかない。当町の自然増減数も同様、出生数よりも死亡数が格段に多く、ここ数年1度も出生数が死亡数を上回ってないが、出生数が上回る自然増対策を伺う。

安心して子どもを産める
環境を充実し、出雲崎町
の良さを売り込んでいか
なくてはならない

町長 子育て等については、妊娠からそれに関わるいろいろな対応については、うちの町は他のまちに引けを取らないがやっぱり出生数を増やすためにも、国の

不妊治療に対する医療費補助等々実態を把握し、プライバシーも考慮ながら、町も積極的に対応してまいりたい方針である。

人口減少を抑制し、 活力にあふれた元気な町に

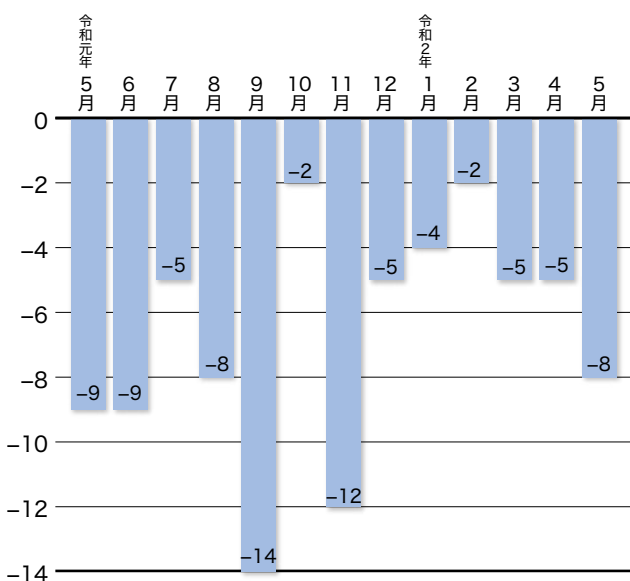
加藤 町の将来推計人口は2467人と発表されたが、人口減少抑制し、子ども

もたちでにぎわう明るい活力にあふれた元気な町づくりについて伺う。

推計人口数は
受け入れない！
『いかに乗り越えるか』が
課された課題！

町長 住民各位の気持ちを受け止めながら、対応を確実に進める。

出生と死亡の差 (令和元年5月～令和2年5月)



死亡数が格段に多い現状、
いかに出生数を増やせるか？

三世代世帯を なぜ支援しないのか？



高橋 速円 議員

町長

三世代ではない！ 二世帯が大事だ！

根っからの
出雲崎町民について

高橋

出雲崎で生まれ育ってきた、地道に頑張っている方々が一番大事で、根っこで頑張っておられると認識している。町長の認識はどうか伺う。

実感としてこの町の良さを享受してもらうことが大事

町長

ここに住んでいる皆さんがまず実感してその良さを受け止めてもらうことが大事だ。住宅団地では194造った。それなりの優遇措置をしたが、基本は住民だ。しっかりとこの町の良さを共感していただくことによりそれがまた発信される。

定住促進は評価する
今度は永住対策ではないのか。

高橋

いままでの定住促進は異論はない。これと並行してもう一つ地元を大事に光を当ててほしい。

直近のデータでは町の全世帯1709世帯のうち239世帯が三世代以上のお宅だ。この三世代の方々のうち二十歳以下の子育て真っ最中の方々が130世帯ある。この皆さんに光が当たっていないのではないのか。

この皆さんは子育てと介護、両方を抱えて出雲崎を支えている。ここに他に先駆けて支援すると内と外の力強いベクトルが出てくる。如何か。

三世代ではない
二世帯が大事だ

町長

かつては多世代世帯が多かったがいまは核家

族世帯が多くなった。核家族化の中の二世帯だ。核家族化の中の後継者を確保することが次につながる。三世帯だけを優遇するわけにはいかない。



他に先駆けて出雲崎独自の施策はできる
次の総合計画に永住支援を盛り込むべきだ

高橋

他の事例では減税対策と住宅対策が主だ。

住宅対策では出雲崎はメニューが揃っている。減税は効果が疑問だ。それ以外として、いま町の中で一番奮闘しているところに経済的に循環させる施策で応援することが、ピンポイントで効果的だ。

三世代世帯優遇は賛成ではない

町長

私は三世代だけを次期総合計画に盛り込むことは賛成ではない。

高橋

町長の認識はわかった。私の認識も承知しておいてほしい。

町出身アーティストへの活動支援を



小黒 博泰 議員

町長

出雲崎をPRするためなら積極的に応援したい

町出身アーティストに支援策の考えは

小黒 新型コロナウイルス感染者が近隣でも確認され、確実に第3波が来ている。

今の状態がいつまで続くのか全く分からなく、生活や仕事など様々なところでコロナ禍の影響が出ている。町では支援策として第7弾まで実施し、これから第8弾が実施される。町民はもとより、企業、飲食店、大学生からも喜ばれているが、コロナ禍で活動制限されている町出身アーティストへ、町としての支援策は考えられないか伺う。

単なる支援金の支給は難しい

町長 アーティストに対する支援は国、県でも行っている。町出身者のアーティストへの補助金の交付はハードルが高いと思うが、町としては、これらの方々の活動が継続できるように頑張っていきたい。現段階では、それぞれの方がどのような状況なのか詳細が分からないが、単なる支援金を支給することは、なかなか難しい。

しかし、作品制作や展覧会、公演など積極的に取り組もうとすることに對しては今後検討したい。

町コロナ対策としての「出雲崎町ふるさと逸品開発等支援助成金事業」があるので、個人的に頑張っている方も何とか活用していただきたい。

小黒 その支援事業は、町内在住者、町内企業が対象と認識しているが、町内出身者で町外で活動している方も利用できるようにしてくれるのか伺う。

町長 この事業は、町在住者を対象にしているが、場合によりこの事業とは別に対応していきたい。



絵本作家 武田悠夢作品展「きらり」

町出身アーティストに對する考えは

小黒 町イベントの出演依頼だけなのか、町出身アーティストをどのような立場、どのように考えているのか伺う。

何方がいるか

活動も把握できない

町長 町内出身でアーティストとして活躍、活動をしている方がどれだけいるのか把握できていない。

町のPR活動をしてもらう考えは

小黒 町出身で活動しているアーティストに、それぞれの活動を通して、出雲崎をPRして頂く事ができないかと思えるが、町長の考えを伺う。

十分相談に応じ、対応、検討したい

町長 町内出身で活躍されている方は、承知している。その方々が出雲崎をPRするために活動するとなれば、十分相談に応じ、対応、検討していきたい。これからアンテナを高く

立て、町に関わる人が活動されるときは、応援し本當の力になる協力をしていきたい。

小黒 町が協力してくれることは、大変ありがたい。一つの提案だが、モンデオさんの「Welcome to the 出雲崎」に合わせて動画を作れば町のPRになり、活動支援にもなると思えるが。

町長 モンデオさんは町在住で活躍され、具体的な話を聞いたので十分参考にし、どういう取組ができるか、前向きに検討したい。

小黒 モンデオさんを例にしたが、他にもJ・R・U、武田悠夢さんなど、色々な分野で活動をしている方がまだまだいると思う。メジャーになる前から、専門の業種で頑張るアーティストに町としての支援と応援をしていただきたい。



シンガー モンデオさん



諸橋 和史 議員

下西越地区の水利について

町長

受益者の意向に 町が何ができるか前向きに対応

農業後継者と 下西越の水利について

諸橋 後継者問題では、滝谷地区は任意生産組合であるが、若者世代も3〜4人程。しかし給与を捨てて、農業を継ぐのは嫌がついて、その経緯の中で下西越の水利について伺う。

藤巻川にある乙茂、馬草の堰、県の農地部では登記されていない馬草堰。約45年前に、河川改修で堰が登記されていないまま現在に至っている。

現状では慣行水利で水が利用され、現在動かない状態。もし河川の中に構造物を造る場合、河川法の24条・26条にかかり改修には多額な経費がかかると思われる。町はどのような考えか伺いたい。

町長 馬草堰は昭和49年に藤巻川上流20mに県が施設建設してもらい慣行水利として利用されている。施設改修には、西越水利

組合による河川占用手続、許可水利権が必要となり、許可手続には約900万円が見込まれる。また、堰本体改修にも地元負担が必要。受益者の意向を確認する必要がある。

町と地元のずれが生じているのでは

諸橋 今お聞きした900万円、その他に改修工事等を含めるといくらかかるか分からない。

地元負担も増すばかり。受益面積が4〜5ha。面積が少ない中で大規模な改修は難しい。しかし現在の堰は可動堰である。私も具体的な案があるわけではない。町と地元で修理にはいくらかかるのか、数字を元にして協議してもらえないか伺いたい。

町長 受益者がどう考えているのか。農業が厳しい中、面積が4〜5ha。そこにある耕作地を維持するの

か。大規模改修は不可能だと思ふ。最も安価で水利が確保できる方法を検討すべきだと思ふ。町もどういふ形で水利を確保したいのか、中に入れて協力をしたい。

地元は少しの負担は努力したい

諸橋 水利組合長と話をさせてもらい負担金なしでは進まない。地元としては150万〜200万円位なら考えていく。町長の力量で、県財政も厳しいと思ふ

が、よりよい資金の出所を見つけてもらうことを考えている。

町長 受益者が負担の意思があれば水利を確保するため最大限努力していきたい。

諸橋 現在は米価が下がっている。耕地を維持するためコストを上げて生産性の向上が必要である。受益者の相談にのり、できる限りの協力をしてもらいたい。



故障した馬草堰



三輪 正 議員

良寛記念館と心月輪 エリアの運営一体化を

町長

横断的に総力を結集してやる

委員会としては
所管の統合を要望する

三輪 良寛記念館は平成25年に町へ移管され、町の財政や人的強化によって、宣伝、イベントなど活動を広げ、記念館の評価が高まっており、町民として喜ばしい。

社会産業常任委員会のなかでさらに成果をあげるには、同一エリアにある「心月輪」について、町の所管を同じにするべきと意見が強く出されている。

記念館は教育委員会、心月輪は産業観光課。議会は担当が総務文教と社会産業常任委員会に分かれている。二つの施設は良寛記念館を中心に運営し、相乗効果が生まれる。

心月輪は観光振興と
来客者の休憩所で整備

町長 心月輪は昭和50年に観光の振興と良寛記念館

来館者の休憩所として整備された。それ以前は財団に経営を委託していた。

私が町議の時、心月輪の建設について賛否についてもめた。当初から運営について厳しい意見があった。

経営の統合でなく
所管の統合を

三輪 経営を一緒にすると言っていない。町の担当を一つの課にすべき。同じエリアで良寛さんの施設、同じ方向で運営すべきである。

記念館は文化的、
心月輪は営利で

町長 記念館は文化的、心月輪は営利の経営が必要。町は横断的にお互いに総力を結集することが大事で、今の形態でやりたい。

所管を一つにして
相乗効果を

三輪 同一エリアにある二つの施設が相乗効果を上げるには町の所管を一つにした方がスムーズに行われると考える。



良寛記念館



心月輪

大門町営住宅の今後の展望は



中野 勝正 議員

町長

建て替えを視野に計画を立てる

中野 大門町営住宅は建てられて35年以上がたち、40年近くになってきていると思うが、建築当時、入居されていた方は、年齢層は若く、お子さんもたくさんおられた。令和元年と令和2年にそれぞれ1棟ずつ除去され、空き家が5棟、今現在13棟が入居されている。この建物が古いために、新しい人が入居されないと聞いている。

町は、今年、この土地を地主の皆さんと協議し、町の土地になった。町として、今後の展望について、

①入居されている方との話し合い
②町営住宅を入居者に無償譲渡する考え方はあるか
③入居者への土地売り買い
④町営住宅を除去して、新たに整理し、町長のネクストプランはあるか

について伺う。



大門町営住宅

公営住宅は 公営住宅の役割がある

町長 ①については、お会いすればお話しするが、全体の皆さんとお話しする気はない。②③については、考えていない。④はぜひやりたい。今の住宅に住んでいられる方は大変だと思う。そういう点を考えると、早く公営住宅を建て替える計画をひとつ立案し、議会の皆さんにも相談しながら進めていく。

提案をする

中野 全部一度に建て替えるのが難しいのであれば空き家が5棟ある中で、みんなきれいな状態になっているので、その空き家に無償で移動してもらえば経費がかかるといって、町が面倒をみるというところで話を進めれば、それなりの土地が確保できる。入居される皆さんが入りやすい環境のものを建てて、入っていただくようにする。今、現在18棟は二階建てで入居者の皆さん喜ばれていると思うし、平屋の建物もまた喜ばれていると思う。大門復興住宅に平屋の建物があり、あれもまた素晴らしいというふうに認識しているので、平屋の建物、二階建ての建物両方考えてはどうか。提案をする。

建て替える方針の中で 計画を立てる

町長 課長に指示を出している。色々なところで公営住宅が建てられているので、そういう所の実態をしっかりと調べて、最も効率のよい、住みやすい、経費もかからない皆さんに好評を受けるような形でやるということを進めていく。



大門平屋復興住宅

委員会視察・調査報告

11/18

総務文教常任委員会

小・中学校



防災及び学校問題について、11/18日に現地調査を行いました。説明員として、佐藤教育長、矢島教育課長から出席を得て、各学校において、各学校長から、学校のコロナ感染症対策について説明を受けました。小学校では、新型コロナウイルス感染症を持ち込まない為に、18項目を作成し、感染症対応をしています。中学校では、①生徒、②授業・休憩時間、③給食時、④来校者、⑤消毒、⑥教育活動他について感染症対策をしっかりと対応している。各教頭先生から、学校内に設置した、網戸、自動水洗化の箇所を案内してもらい、その後、授業参観を見学しました。

矢島教育課長からは、コロナウイルス感染症対策について、11/18日に現地調査を受けた後、公民館、体育館、町民プールに設置した網戸、自動水洗化した箇所を視察しました。今回の現地調査を踏まえ、委員の意見としては、コロナウイルス感染症対策は、しっかりと対応していると感じました。また、これから冬場になるので教室内の加湿や換気が大事になるので加湿器と空気清浄器が一緒になってくるものがあると思うので、専門の業者に聞いていただき、検討したらどうかとの意見、教室に湿度温度計を設置したらどうかとの意見がありました。

総務文教常任委員長

中野 勝正

委員（5名）全員で町保健福祉総合センターふれあいの里において、権田保健福祉課長と佐藤事務局長の出席を得て、当町の「福祉問題について」と「保健福祉総合センター・ふれあいの里の施設の状況について」質問ごとに現状と町等の対応について説明がありました。

主な質問と説明について

①福祉タクシー・バス券の利用実績が60%と低い理由について

免許返納時の利用PRと一時的タクシー券利用の要望については町は相談に応じている。

②介護保険事業について
介護度5の人が増えていく。町の事業は要介護にならないようにするため、各

種事業を行っている。やすらぎの里は当町の待機者は50名。地元入所の希望が多い。

③新年度の新規、拡充事業について
補聴器の補助実施を望む。

④「ふれあいの里」施設の状況
平成9年オープンで23年経過している。お風呂の利用者増と管理の徹底の要望があり、県や国のマニュアルに従っていると説明がある。

⑤社会福祉協議会の活動について
高齢者パワーアップ事業の参加者増と給食サービスのボランティア募集について、サロンや茶の間の会場でお願したらどうかの意見があった。

⑥ふれあいの里の電気料金
11月より別会社への契約変更で、25%料金が安くなり年間約89万円削減できる方向です。

保健福祉事業は事業も多く、町民全てが関係する分野です。町民の要望も多岐にわたり、委員会としても町と協議・要望をしてみたいです。

社会産業常任委員長

三輪 正

社会産業常任委員会

ふれあいの里

10/19

議会サロン 今後の予定

町議会では、町民の皆さまのご意見・ご要望等をお聞きする『議会サロン』を開催しています。担当議員2名が皆さまをお待ちしています。ぜひ、お越しください。

| 開催日 | 会場 | 開催時間 | 担当議員 | |
|----------|-------------|-------------|-------|-------|
| 2月9日(火) | 妻入り会館 | 午前10時～午前12時 | 仙海 直樹 | 加藤 修三 |
| 2月27日(土) | ホッと情報館 陽だまり | | 高橋 速円 | 小黒 博泰 |
| 3月27日(土) | ホッと情報館 陽だまり | | 高桑 佳子 | 中川 正弘 |



※3月第2火曜日は、3月定例会会期中のため開催しません。

出

雲崎町に移住して
早くも1年10ヶ月
が経ちました。

当時は新しい町での生
活にわくわくする一方、
なじめるかな？受け入
れてもらえるかな？と少
し不安も感じていました。
でも、そんな不安は何の

その。子供と外で遊んで
いると、皆さんが笑顔で
話しかけて下さったり、
そのあたたかい人柄に
「ここに引っ越してきて
よかった。こんなに良い
環境で子育てができて幸
せだな。」と素直に思い
ます。

実際に生活してみても
からの子育てに関する支
援の多さに驚きましたし、
同じ子育て世代の家族が
近くに居てくれることも
大きな支えになっていま
す。
出雲崎のあちこちに足
を運びながら、伸び伸び
子育てを楽しんでいま
きたいと思えます。



近所の子どもたちと雪遊び



みんなの声

あたたかさ感じる 出雲崎

川西

えんどう まみ
遠藤 真美さん



表紙の小話

大雪警報が発表中の1月8
日、町内の小中学校は三学期
の始業式を迎えました。朝の
登校では、降りしきる雪の中、
先生方や駐在さん、地域の
方々が、登校班の前後につい
て子どもたちを見守っていま
した。

児童玄関や教室の、明るく
て暖かそうな光にほっとし、
久しぶりに顔を合わせた友達
に、嬉しそうな表情でした。

コロナの感染拡大も止まら
ず、一都三県に緊急事態宣言
が再発令されました。子ども
たちが、私たちみんなが遠慮
無く会って、笑い合える日々
は、直ぐには来ないかもしれ
ません。しかし、その日を信
じて、一人一人が注意を怠ら
ないように、出来ることを
やっていきましょう。

(高桑佳子)



久しぶりだね

編
集
後
記

謹賀新年

新型コロナウイルス感染
症拡大が止まりません。マ
スク、手洗い、換気など、
出来る限りの対策を行って
いても、いつどこで感染す
るかわからないウイルスで
す。

今冬のインフルエンザと
の同時流行で、発熱症状が
心配になってきます。

新年には外出の機会が多
くなりますが、お互いに
「不要不急」の外出をしな
い様に心掛けましょう。

そこで正月、家に居る時
には是非「議会だより」を
じっくりお読みいただけれ
ば有り難いです。

今年も議会の様子を編集
委員一同、一生懸命に分か
りやすく、お伝えしていま
します。

(安達一雄)

議会報特別委員会

委員長 高桑佳子
副委員長 安達一雄
委員 中野勝正
委員 三輪正
委員 小黒博泰